

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない  ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く  周囲の安全を気にしている様子がない  横断歩道で安全確認をしないで走る 公園の水道で水遊びをする・水遊びを止められ自傷する
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声掛けだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと伝えてもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコリア)	✓	「行きましょうか」に「行きましょうか」と答える
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	公園の柵や水道を見ると即行動に移す  ヘルパーの声掛けにはエコリアで答えるだけ
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない	✓	
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない  水遊びをやめることができない 止められて自傷をする  水へのこだわりがある
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳を塞いでいる
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	水を触りたがる
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

# 冰山モデルシート

課題となっている行動

**水遊びを止められて自傷をする**

本人の特性

必要なサポート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』				
		背景となる特性	支援のアイデア	
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓	A) 具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点) D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点) E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点) F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い		
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓	
		6) 見えないものの理解が難しい	✓	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓	
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい		
		11) どのようにして伝えたいか分からない	✓	
		12) 誰に伝えていいか分からない		
	やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やり取りの量が多いと処理が難しい		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい		
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい		
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい		
		20) 臨機応変に判断することが難しい		
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い		
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある		
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	✓	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある		
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある		
		30) 前庭覚の特有の感覚がある		

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりがわかりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

# 氷山モデルシート

ワークシート⑥:グループ用

## 課題となっている行動

水遊びを止められて自傷をする

### 本人の特性

- 1) 相手への関心が薄い
- 5) 周囲の様子から期待されていることを理解するのが難しい
- 6) 見えないものの理解が難しい
- 7) 話し言葉の理解が難しい
- 11) どのようにして伝えたらいいかわからない
- 18) 今やることが自分で判断することが難しい
- 19) 先の予測をすることが難しい
- 22) 興味関心が狭くて強い
- 27) 触覚の過敏や鈍麻がある

### 環境・状況

- 人 : 支援者はことばで指示を出している
- 物 : 水道が見えやすい場所へ出かけている
- 場所 : 公園での目的が柵でゆれるか、水道で遊ぶ かに見えていた
- 状況 : どうなったら終わりがわかりにくい
- 状況 : 公園に何をしに行ったのかわからない

## 必要なサポート

### 支援のアイデア

- C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える
- D) 本人が理解できる見える情報で伝える
- G) 本人にわかりやすく予定を伝える

活かせそうな強み→活かせそうな場面

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
<p><b>わかること・できること</b>                      例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長い距離でも歩くことができる</li> <li>・お茶を見せるとベンチに座って飲むことがわかる</li> <li>・絵本の「くるま」を見て「外出」するのだと理解したことがある</li> </ul>	
<p><b>好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど）</b>  <b>やりたがること</b>                      例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キラキラするものが好き</li> <li>・静かな部屋で一人で過ごす</li> <li>・同じマークを見つけると重ねている</li> <li>・ゆれる感覚に没頭することがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マークを使って活動の理解ができないか</li> <li>・ゆれる感覚で適切な遊びを提供できないか</li> </ul>
<p><b>得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば得意かもしれないこと</b>                      例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの意図がわかれば素直に応じてくれる</li> <li>・人には関心がないが物には注目できることが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物を使ってルールを伝えることはできないか</li> <li>・タイマーで終わりを伝えられないか</li> </ul>
<p><b>その他</b></p>	

支援手順書/記録用紙

ワークシート⑧

日付け	20〇〇年〇月×日	氏名	田中さん	記入者	支援員B
-----	-----------	----	------	-----	------

工程	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子(記録)
事前準備		スケジュールに活動カードをセット。 お茶をカバンに入れる。	
スケジュール確認	出発前に支援者と一緒にスケジュール確認	田中さんに見えるようにスケジュールを示し、活動カードを1つ1つ指差して予定を最後まで確認する。 最後まで確認できたらカバンを渡して出発するように促す。	
散歩	公園に向かって歩く	田中さんの横を歩き、通行人や車をぶつからない様に注意する。 ぶつかりそうな時は田中さんの前に出てジェスチャーで止まる様に促す。 公園に近づくと走り出すことがあるので、横断歩道の前で本人の前に出て身体の前で手を出しジェスチャーで止まる様に促し、支援者が安全確認する	
公園	公園の入り口でスケジュール確認 ブランコで遊ぶ お茶を飲む	公園の入り口でスケジュール確認。(活動カードを外す) ブランコに移動、本人が満足するまで遊んでもらう。 満足して動き出したら、次のスケジュールを示しベンチに移動。 ベンチでスケジュール確認(活動カードを外す)、お茶を飲む。 終わったら次の活動を伝える * 田中さんが水遊びを始めた時は、タイマーを10秒にセットし、田中さんに見える様にセットし、「10秒でおしまい」と声掛け。 タイマーがなったら田中さんが水道を止めるので、次の活動を促す。	
外食	飲食店に行き食事をする	お店の前で走り出すことがあるので、本人の前に出てジェスチャーで止まってもらい支援者が安全確認。 店前でスケジュール確認(活動カードを外す)。 メニュー表を見せると、食べたいものを指差すので、支援者が注文、購入する 食事は見守りする。 食べ終わったら次の予定を伝える。	今回は記入しません。
帰宅	自宅に戻る	スケジュール確認(活動カードを外す) 家族に田中さんの様子を伝える。	今回は記入しません。

<p>* スケジュール確認の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールカードを指差し、次の活動を単語で伝える</li> <li>・活動場所に着くとカードを外しポケットに入れる</li> <li>・次の活動を伝える際はスケジュールカードを指差し単語で伝える</li> </ul> <p>* 本人と関わる際の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けが多くなると混乱しやすいので、声かけは最小限にする</li> <li>・公園やお店の近くでは目的に向かって急に走り出すことあり</li> <li>・事前にジェスチャーで止まる様に促し支援者が安全確認する</li> </ul>
---